

令和 2 年 12 月 1 日 塩竈市健康福祉部子育て支援課

塩竈市の保育施設整備の方向性について

1. 塩竈市の保育事業の状況	P1
2. 塩竈市の公立保育所の課題とあり方	P5
3. 保育施設整備のロードマップ	P8
4. 保育施設整備の手法	P9
5. 保育施設整備の将来計画	P13

1. 塩竈市の保育事業の状況

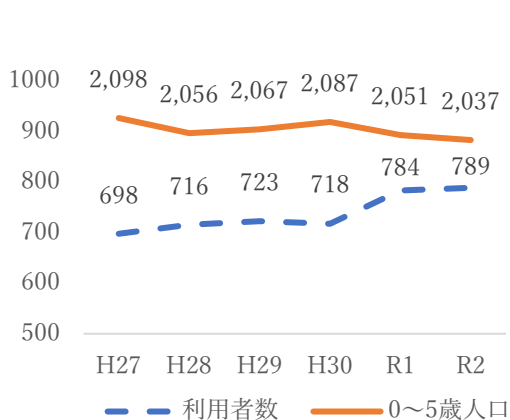
（1）保育ニーズの状況

近年、本市においては、子どもの数が減少しているにもかかわらず、保育需要は年々増加しており、特に0歳～2歳の低年齢児のニーズが高まっている。保育所待機児童については、年度当初においては平成28年度までは発生しなかったが、平成29年度以降発生している。また、年度途中においては育児休業から復帰する保護者の子どもの利用希望があるため、待機児童は大きく増えている状況である。

そのため、平成30年4月には小規模保育所1か所を、平成31年4月には幼保連携認定こども園1か所及び小規模保育所1か所が新たに開所し、122名の保育提供量を拡充している。しかし、女性の就労増大や核家族化の進展、ひとり親世帯の増加、また令和元年10月からスタートした幼児教育・保育の無償化を要因として、保育を必要とする子どもの数は今後も増加するものと予想される。

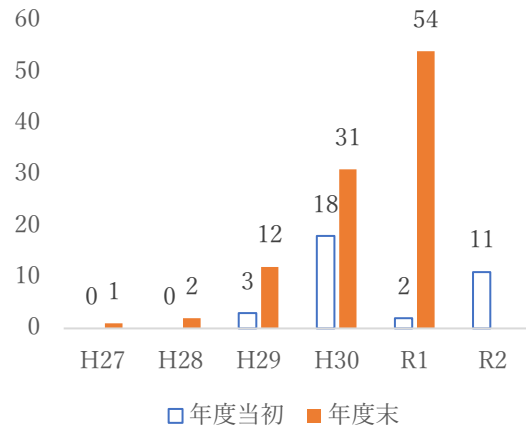
また、共働き家庭の増加や働き方の多様化が進み、「延長保育」「一時預かり保育」、「病児・病後児保育」などの多様な保育サービスが求められているほか、近年、障がいを持つ児童や集団生活において配慮が必要な児童に対する保育の要望も増えつつある。

【保育事業利用者及び0～5歳人口】



【待機児童数】

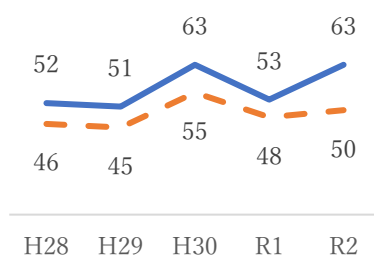
(単位：人)



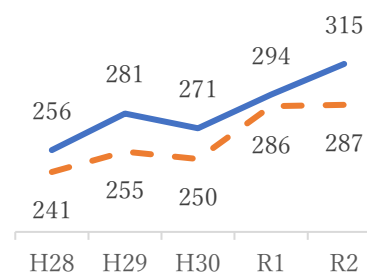
【0歳児及び1,2歳児の申込数、利用者数】

— 申込数
— 利用者数

0歳児



1, 2歳児



（２）塩竈市公立保育所の状況



（３）塩竈市公立保育所入所児童、保育士の状況

施設名	定員	児童数		保育士数	
		面積基準上 最大児童数	実入所数	面積基準上 必要保育士数	実配置数
東部保育所	60	56	43	6	6
香津町保育所	60	75	59	11	9
うみまち保育所	40	40	33	6	5
藤倉保育所	90	144	88	21	12
清水沢保育所	90	111	86	19	10
計	340	426	309	63	42

使用年齢	児童数		保育士数	
	面積基準上 最大児童数	実入所数	面積基準上 必要保育士数	実配置数
0 歳	51	15	18	5
1 歳	59	48	14	8
2 歳	77	59	15	11
3 歳	74	54	7	7
4 歳	95	73	5	6
5 歳	70	60	4	5
計	426	309	63	42

R2.4.1 時点（うみまち保育所のみ新施設移行後（R2.9.1 時点）で算出）

定員、児童数には一時預かりを含まない。

年齢を跨いで使用している保育室については、それぞれ案分にて算出している。

【参考】児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（第 32 条）による保育所の設備基準

年齢	面積（㎡）	
	屋内	屋外
0～1 歳	3.3	
2～5 歳	1.98	3.3

- ・乳児または、満 2 歳に満たない幼児を入所させる保育所には、乳児室又はほふく室、医務室、調理室及び便所を設けること。
- ・満 2 歳以上の幼児を入所させる保育所には、保育室又は遊戯室、野外遊技場（保育所の付近にある屋外遊技場に代わるべき場所を含む）、調理室及び便所を設ける。

【参考】児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（第33条）による保育士配置基準

年齢	保育士配置基準
0歳	子ども3人に対し保育士1人
1～2歳	子ども6人に対し保育士1人
3歳	子ども20人に対し保育士1人
4歳～	子ども30人に対し保育士1人

（4）年齢別待機児童の状況（R2.4.1時点）

施設名	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
公立保育所	340	12 (1)	48 (2)	59	58	62	67	306 (3)
私立保育園等	477	38 (3)	78 (2)	102 (3)	91	84	89	482 (8)
公立 + 私立	817	50 (4)	126 (4)	161 (3)	149	146	156	788 (11)

各年齢の、上段：入所児童数（人）、（下段）：待機児童数（人）

- ・待機児童は0～2歳児に集中している。
- ・私立保育園等の待機児童数が多い。

2. 塩竈市の公立保育所の課題とあり方

（1）公立保育所の課題

①施設面

- ・老朽化が激しく、施設の修繕・備品の更新が頻回
- ・保育室のレイアウトが、0～2歳の保育ニーズの増に非対応
- ・自家用車での送迎の増による、駐車場不足

②職員体制

- ・職員の年齢構成の偏り（20・30代が多く、中堅・ベテランの世代の層が薄い）
- ・会計年度任用職員が約50%を占め、正職員の負担が増大
- ・会計年度任用職員を募集しても応募がない

③保育内容

- ・保護者の多様な働き方への対応（延長保育や休日保育の拡充の要望）
- ・発達に課題がある子どもの増加への対応（個々に応じた保育とその体制づくり）
- ・病児保育・病後児保育の実施への要望
- ・就労に関係なく、保護者のリフレッシュ等を目的とした一時預かり保育のニーズ
- ・保育所においても幼児教育の充実を図り、幼保連携の推進が必要
- ・保育所は地域における子育て支援の拠点としての役割を担っており、今後もその役割を堅持
また、家庭に課題を抱える児童（要保護児童、養育困難家庭など）の増加に対し、健全に成長できるように支援

（2）公立保育所のあり方

- ・上記の課題と長期総合計画や公共施設再配置計画、第2期のびのび塩竈っ子プランにおける保育事業を踏まえて、5か所の公立保育所の将来的な運営について、再編・民営化の選択肢も入れた個別計画の策定を検討。その際、再編に伴う保育士の定員管理の整理を行う。
- ・民間の保育施設も含めて、今後の本市全体の保育事業のあり方について検討が必要。

（３）塩竈市公共施設再配置計画における保育施設の方向性

～塩竈市公共施設再配置計画より～

第6章 個別施設計画に向けた再配置案

（９）幼保・こども園

【再配置案】

国の三位一体改革により公立保育所の運営費及び施設整備費が一般財源化されるなど、効率的な保育所運営が求められています。本市の公立保育所については、個別施設計画を策定しながら、多様化する保育ニーズに対応できるよう、民営化を視野に入れて役割やあり方を検討していきます。

なお、新浜町保育所については、海岸通地区への移転が予定されています。

表 6-1-9 幼保・こども園の再配置方向性

施設名称	総延床 面積 (㎡)	主要棟 建築 年度	一次評価	二次評価	方向性	方向性	方向性	方向性の考え方
					短期 2017～2026	中期 2027～2036	長期 2037～2046	
保育所								
塩竈市 東部保育所	356	1972	C(移転・建替)	廃止	統合 (移転)			現施設の老朽化が激しいため、 早急な建て替えを要している。 今後、保育所の再編を検討して いく中で、運営方針を整理して いく。
塩竈市 香津町保育所	430	1974	C(移転・建替)	廃止	統合 (移転)			本保育所は民営化をする方針 が決まっていたが、震災の影響 により延期となった。これまでの 方針を推進すべきかを含めて、 今後、保育所の再編を検討して いく中で、運営方針を整理して いく。
塩竈市 新浜町保育所	495	1971	D(譲渡・廃止)	他施設への 統合・複合化 または改築 (建替・改修・ 縮小)	複合 (移転)			海岸通地区で進められている 再開発事業により新たに新設さ れる建物内に複合(移転)する。
塩竈市 清水沢保育所	638	1976	C(移転・建替)	廃止	譲渡			現施設の老朽化が激しいため、 早急な建て替えを要している。 今後、保育所の再編を検討して いく中で、運営方針を整理して いく。
塩竈市 藤倉保育所	787	1997	C(移転・建替)	廃止			譲渡	今後、保育所の再編を検討して いく中で、将来的な運営方針の 協議を行っていく。

【参考】近隣一市三町の状況

（単位：箇所、人、％）

		多賀城市	松島町	利府町	七ヶ浜町	塩竈市
R2.4.1 待機児童数		18	5	0	12	11
公立保育所	施設数	3	4	1	1	5
	定員合計	240	269	70	90	305
私立保育園	施設数	13		7		5
	定員合計	983		555		370
認定こども園	施設数	1		1	2	1
	定員合計	50		70	130	78
小規模保育施設	施設数	7		6		2
	定員合計	91		100		38
事業所内保育事業所	施設数	1				
	定員合計	15				
合計	施設数	25	4	15	3	13
	定員合計	1,379	269	795	220	817
【参考】 公立保育所/合計	施設数	12.0%	100.0%	6.7%	33.3%	38.5%
	定員合計	17.4%	100.0%	8.8%	40.9%	37.3%

- ・二市三町で待機児童が出ていないのは、利府町のみ。
- ・事業所内保育事業所を設けているのは多賀城市のみ。

3. 保育施設整備のロードマップ

		第2期のびのび塩竈っ子プラン							
施設名	現状や方向性	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R25 年度
東部保育所	現在 60 人定員 改修増築・維持		設計施工一体で整備（～R3）（+7）						
香津町保育所	現在 60 人定員 R5 未廃止		保護者・市民に廃止を説明（廃止の2年以上前）			施設解体（▲60）			
旧新浜町保育所	海岸通へ移転済 解体		旧施設解体						
うみまち保育所	現在定員 40 名 維持								
清水沢保育所	現在 90 人定員 減少させ R7 未廃止		保護者・市民に廃止を説明（縮小開始の1年4月前、廃止の4年以上前）			3 か年で縮小廃止（各年▲20～▲30） 預かり保育実施		施設解体（▲90）	
藤倉保育所	現在 90 人定員 維持								
(新)伊保石地区 等保育園整備	定員 60 人想定 民設民営		事業者等打合・補助制度確認 保護者・地域住民への説明 事業者公募・施設整備			供用開始(+60)			
(新)市有地を活用 した保育施設整備	定員 120 人想定 民設民営					供用開始(+120)			
全体保育量	817 公 340 私 477 (対前年度差)	817 公 340 私 477 (－)	824 公 347 私 477 (公立+7)	824 公 347 私 477 (－)	974 公 317 私 657 (公▲30 私+180)	894 公 237 私 657 (公▲80)	874 公 217 私 657 (公立▲20)	854 公 197 私 657 (公立▲20)	854 公 197 私 657 (－)

※香津町保育所は令和5年度末、清水沢保育所は減少させて令和7年度末に廃止としているが、保育ニーズの増減によってその進行を調整させる場合がある

4. 保育施設整備の手法

（1）東部保育所改修事業

①実施主体

塩竈市が整備、運営

②整備目的

昭和48年に建設された東部保育所は、現在、本市において最も古い公立保育所であり、施設・設備の老朽化が顕著となっている。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大への対応を目的として、新しい生活様式を実践することができる保育環境の整備が必要となっている。これらの課題に対応するとともに、三密を防ぎつつ待機児童対策につながる保育室等のレイアウト変更を行うために、東部保育所の施設改修を行う。

財源として、コロナ対策事業分については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、コロナ対策事業以外については地方債の活用等を検討する。

③整備内容

- i) 老朽化対応：屋根・外壁の改修、照明器具の更新、給排水設備更新
- ii) 三密対策：保育室の面積拡張・レイアウト変更、トイレ等の面積拡張
- iii) 感染症拡大防止対策：床・壁の改修、建具の更新・調整、空調・換気設備の更新、
厨房機器の更新、衛生器具の更新（手洗い場の自動水栓の導入、トイレ機器の更新）
- iv) 待機児童対策：0歳児室の新規増設、保育室の面積拡張

※定員の拡充について

年齢	定員		
	改修・増築前	改修・増築後	後－前
0歳児	－	6人	+6人
1歳児	10人	10人	－
2歳児	10人	12人	+2人
3歳児	13人	13人	－
4歳児	27人	13人	▲1人
5歳児		13人	
計	60人	67人	+7人

（２）伊保石地区等保育所整備事業

①実施主体

民間事業者が整備、運営。

整備費用、運営事業費に対し国の補助制度により補助金を交付。

②整備目的

塩竈市の認可保育所（園）は住宅地や市街地に位置し、近年都市開発の影響により保育園をとりまく環境は都市化を増している。その中で、幼児の自然体験をはじめとする体験活動が減少している現状である。

北欧諸国で始まったとされる森の幼稚園・野外保育ですが、わが国においても乳児・幼少期の子ども達へ自然体験の機会を提供しようとする団体や個人が増え、「森のようちえん・ほいくえん」という保育施設が広まってきている。

自然の中には、土のにおい、樹木の葉のささやき、風の音、草花のふれあい、虫の観察、命のつながり、全てが子どもの五感を大きく刺激し、「探求心」や「好奇心」を育む環境がある。

自然体験を通して子供たちがたくさんの不思議と出会い、子どもの興味を引き出すと共に心と体のバランスのとれた発達を促し、豊かな感受性、自分自身で考える力を育てていく。

平成31年に実施した塩竈市子ども子育て支援事業に関するニーズ調査において、

- ・公立保育所の老朽化が著しく建て直しをしてほしい。
- ・外遊びができる公園が少なく、遊具も古く撤去されているところが多い。
- ・公園などで自然に触れ合える機会が少なくなっている。

などの意見があった。

伊保石公園は、自然環境に恵まれているのにも関わらず、利用が少ない現状にある。

自然豊かな伊保石公園に一時預かりや、子育て支援センターの機能を兼ね備えた森の保育園を開園し、現代の社会構造としての問題となっている子育て世代の孤立や母親の育児不安解消への一助となりつつ、地域社会と保育園の繋がりも深めていければと考えている。

塩竈市の子ども達に自然体験を通してのびのびと成長してほしいという思いを込めて伊保石公園の利用を考えている。

③整備内容

定員 60 名（0 歳児～就学前）

一時預かり保育事業、地域子育て支援センター事業の機能を併設

整備場所は「市民の森記念館」とその裏の隣接地の活用を想定

（記念館隣接の遊具、多目的広場及び駐車場は一般利用者と共有する）

④課題

i) 活用できる土地の選定

伊保石公園を効果的に活用できる施設になるような整備地の検討が必要である。
また、当地は市街化調整区域内であるため、県の開発審査会での審議が必要。

ii) 土地の使用料

待機児童解消を目的とすることや、公園内の利用部分の維持管理を事業者をお願いして占有を許可するため、使用料の免除ができるかを検討する。その場合の期限や条件を整理する。

iii) 造成費用に係る財源の検討

基本的に民間事業者の負担で造成工事を行ってもらうことを考えているが、市が造成し民間事業者から負担金を求めたり、市が補助金を交付できるかを検討

iv) 供用開始までのスケジュール

待機児童解消のために、早期に供用を開始したいが、事業者の公募や選定とその後の整備、県の開発審査会での審議、議会への説明等のためにある程度の時間を取ることが望ましいと考える。

（3）市有地を活用した保育施設整備

①実施主体

市有地を活用し民間事業者が整備、運営。

整備費用、運営事業費に対し国の補助制度により補助金を交付。

②整備目的

昭和 51 年に整備された、香津町保育所（定員 60 名）、清水沢保育所（定員 90 名）は、築年数 40 年以上が経過し、施設・設備の老朽化が顕著となっていることから、香津町保育所は統合・廃止、清水沢保育所は譲渡を検討する。なお、清水沢保育所については 3 か年程度の経過措置期間を設け、その間預かり保育を行うものとする。

その代替として、市有地を活用した民間事業者による保育施設の整備運営を検討する。

③整備内容

定員 120 名程度（0 歳児～就学前）

1,500 m²を整備地とする

④課題

i) 整備候補地の選定

市の全体的な保育施設の位置や、必要とする面積の確保を条件として、市有地における候補地の選定を行う。なお、市の他の施設・事業への活用がないのか、市内部での合意形成が必要である。

ii) 保護者への説明と理解

香津町保育所と清水沢保育所の廃止と移転・民営化について、保護者に十分な時間を取りながら説明を行い、理解を得る必要がある。

iii) 整備地周辺の町内会への説明と合意形成

整備地周辺町内会に対し、保育施設整備の説明と理解を得ることが必要である。

iv) 土地の使用料

待機児童解消を目的として占用を許可するため、使用料の免除ができるかを検討する。その場合の期限や条件を整理する。

（４）その他

①旧新浜町保育所の解体

建物の維持には維持管理費が生じるため、解体を検討する。

②病後児保育の検討

新施設の整備にあたっては、病後児保育の実施についての検討を行う。

③整備を進める上での整理事項

i) 第2期のびのび塩竈っ子プランとの整合性

保育ニーズや、定員の管理、保育施設の廃止や新設の位置づけを、子ども・子育て会議において協議しながら整理をする。

ii) 公立保育所の民営化の説明

利用する保護者への説明とともに、市民・議会に対して民間へのシフトを説明し、理解を得る必要がある。

iii) 保育士の定数管理

民営化に伴い、公立保育所の保育士の定数管理と、新たな保育施設での保育士の確保を図っていく。

5. 保育施設整備の将来計画

施設名		定員	在籍	再配置 計画	現状の課題	今後の対応	将来像	増減	目標年度	課 題
公 立 保 育 所	東部保育所	60	43	統合 (移転)	老朽化が著しいが、コロナ予算により改修予定	R2.9月補正による増改築により定員の増	<u>67</u>	<u>+7</u>	R3整備終了	適化法により22年間供用必須。不可なら途中補助金返還
	香津町保育所	60	59	統合 (移転)	老朽化が著しい	廃止	<u>0</u>	<u>▲60</u>	R5末廃止	
	うみまち保育所	40	30	複合 (移転)	R2.8.31海岸通に移転、共用開始	旧新浜町保育所は解体	40		R3旧施設解体	旧施設の跡地利用 (施設は解体を検討)
	清水沢保育所	90	86	譲渡	老朽化が著しい。	長期的に定員調整をしながら廃止。預かり保育を実施。	<u>0</u>	<u>▲90</u>	R7末廃止	
	藤倉保育所	90	88	譲渡	比較的新しい。	必要に応じた改修を行い、施設の延命を図る。	90			
公立 計		340	306				<u>197</u>	<u>▲143</u>		
私 立 保 育 園 等	さかえ保育園	60	65				60			
	北浜保育園	60	62				60			
	玉川保育園	75	74				75			
	あゆみ保育園	90	92				90			
	塩釜ひまわり保育園	70	78				70			
	わだつみ保育園	19	20				19			
	てでいべあ	19	18				19			
	塩釜聖光幼稚園	84	73				84			
	(新)伊保石地区等の 保育園整備	—	—			民間事業者による施設整備 と管理運営	<u>60</u>	+60	R4整備終了 R5供用開始	事業者の選定。
	(新)市有地を活用した 保育施設整備	—	—			民間事業者による施設整備 と管理運営	<u>120</u>	+120	R4整備終了 R5供用開始	事業者の選定。 周辺町内会の合意が必要
私立 計		477	482				657	+180		
公立 + 私立		817	788				<u>854</u>	+37		

※R2.4.1 現在待機児童 11 名